

### 茶郷川環境整備協議会の活動



中学校の生徒も協力しています

茶郷川治水協議会には、環境部会として「茶郷川環境整備協議会」という組織があります。この環境整備協議会は、土川、上ノ山、本町、平成、千谷川、城内の各町内で組織され、それぞれの町内を流れる茶郷川の環境整備に取り組んでいます。

各町内ごとに、事業を計画し、河川内の草取りやゴミ拾いなどの活動、花などの植栽や安全パトロールなどの活動を行い、みなさんの町内を流れる茶郷川がいつまでも美しく愛される川となるよう努めています。

環境整備協議会では、こういった作業活動を通じ、地域間の交流を深めることにも努めています。



各町内でそれぞれの活動をしています



みなさんで協力して草刈り



公園の整備なども併せて行っています

# 台風18号により信濃川が増水 排水ポンプ車が出動しました



9月13日（金）3時に小笠原の近海で発生した台風第18号は、日本の南海上を北西に進み、14日（土）9時に大型となり、15日（日）夕方には四国の南海上に達しました。

その後、台風は進路を北東に変え、近畿地方や東海地方を暴風域に巻き込みながら東海道沖を北東に進み、16日（祝）8時前に愛知県豊橋市付近に上陸しました。

この台風は上陸後も勢力を維持したまま北上し、暴風域を伴って関東甲信地方を北東に進んだ後、東北地方南部を経て16日（祝）18時には三陸沖に達しました。

（新潟気象台発表資料による）



堤防の外へ排水

これに伴い、信濃川につながる市内の河川も、信濃川の水位上昇により信濃川からの河川水が逆流する恐れがあったため、信濃川堤防に設置されている樋門（水門）などを閉める必要がありました。

小千谷市では、茶郷川、表沢川（東小千谷）に国土交通省の排水ポンプ車が出動しました。茶郷川では、ポンプ車稼働前に、小千谷左岸土地改良区の三古用水路への排水ができたため、ポンプ車による排水活動はありませんでした。

しかし、表沢川については樋門を閉めたことにより表沢川の水位が上昇したため、ポンプ車による排水活動を実施し、堤防内の洪水を防ぐことができました。

このように、万一の際には国土交通省のポンプ車による対応などでみなさんの地域を守る態勢を整えています。



増水した信濃川（16日（祝）午後4時40分頃）

この台風18号は信濃川上流部に大雨を降らせ、16日（祝）、お昼頃から小千谷市内を流れる信濃川もみるみる増水し、午前11時に43.32mだった水位（元町水位観測所）が、午後4時には48.98mを記録しました。



茶郷川の水位も上昇しました



1台目のポンプ稼働直後



4台のポンプ稼働後